



薬には病気を治したり、症状をやわらげたりする効果がある一方、副作用があらわれることがあります。医師に指示された用法・用量にしたがって使用してください。体調が良くなったと自分で判断し、使用することをやめたり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。薬のことでわからないこと、心配なことなどがありましたら、医師や薬剤師に相談してください。

シロドシン錠 2mg 「DSEP」、シロドシン錠 4mg 「DSEP」、
シロドシン OD 錠 2mg 「DSEP」、シロドシン OD 錠 4mg 「DSEP」

一般名： シロドシン (和名) (Silodosin (英名))	販売名	シロドシン錠 4mg 「DSEP」	シロドシン OD 錠 2mg 「DSEP」	シロドシン OD 錠 4mg 「DSEP」
	形状(製剤写真等)			

※シロドシン錠 2mg 「DSEP」の写真は省略しています

1.どんな薬

- この薬は、ぜんりつせん前立腺、ぼうこうへいかつきん尿道及び膀胱平滑筋の緊張を和らげ、ぜんりつせん ひ だいしょう前立腺肥大症に伴うはいようしょうがい排尿障害を改善します。

2.この薬を使用できない人、特に注意して使用する必要がある人

- ⊗ 次の人はこの薬を使用できません。必ず医師や薬剤師に相談してください。
 - ・ 過去にシロドシン錠「DSEP」、シロドシン OD 錠「DSEP」に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は特に注意が必要です。使い始める前に医師や薬剤師に相談してください。
 - ・ まりつせいていけつあつ起立性低血圧(立ちくらみ)のある人
 - ・ 腎臓に障害のある人
 - ・ 肝臓に障害のある人
- この薬には一緒に使用する場合に注意が必要な薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師や薬剤師に相談してください。

3.この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと

- この薬の使用により、以下のような症状があらわれることがあります。これらの症状に気づいたら、医師や薬剤師に相談してください。

主な症状	考えられる副作用など
<small>しゃせい</small> 射精時に精液がほとんど出ない	<small>しゃせいしょうがい</small> 射精障害(逆行性射精等)
力が抜けてだるく感じる、めまい、ふらつき、立ったときにめまいやふらつきを感じる、意識がなくなる	<small>まりつせいていけつあつ</small> 起立性低血圧、 <small>けつあつていか</small> 血圧低下
体がふわふわと浮いているような感じがする、ふらつき、頭がグルグルと回っている感じがする	めまい

- しゃせいしょうがい射精障害が起こることがあるので、十分に理解できるまで説明を受けてください。
- けつあつていか起立時に血圧低下があらわれることがあります。起き上がる際や姿勢を変える際には注意してください。
- 高所作業、自動車運転等：めまいなどがあらわれることがあるので、高所作業や自動車の運転などの危険を伴う作業をする場合には注意してください。
- こうあつざい降圧剤を併用している場合は けつあつていか血圧低下があらわれることがあります。こうあつざい降圧剤を飲んでいる人は投与開始時に必ず医師に告げてください。また、投与中に異常を感じたら、必ず医師や薬剤師に相談してください。
- 高齢の人：腎臓や肝臓の働きが低下していますので、この薬の注意すべき点について十分に説明を受けてください。

4. ほかに知られている副作用

「3. この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと」に記載されている副作用のほか、比較적으로よくみられる副作用の一例は以下のとおりです。これら以外の副作用もあらわれることがあります。これらの症状や、普段と異なる症状に気づいたら、医師や薬剤師に相談してください。

主な症状	考えられる副作用
お腹が痛い、水や泥のような便が出る、柔らかいけど形のある便がでる、水分が多くて形のない便がでる	げり なんべん 下痢、軟便
口の中がかわく	こうかつ 口渇
鼻がつまる、においが分かりにくい	びへい 鼻閉

5. 保管方法

直射日光と湿気をさけて室温（1～30℃）で保管してください。

6. 問い合わせ先

症状、使用方法、副作用などについて不明な点がある場合は、医師や薬剤師におたずねください。

この製品に対する一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売業者：第一三共エスファ株式会社（<https://www.daiichisankyo-ep.co.jp/>）

電話：お客様相談室 0120-100-601、受付時間：9:00～17:30（土、日、祝日、当社休日を除く）

※医薬品副作用被害救済制度：お薬は正しく使っていても、副作用が起こることがあります。もしも副作用で重い健康被害が生じた場合に、医療費や年金などの給付が受けられる公的な制度です。

制度の詳細はこちらをご覧ください。

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

なお、抗がん剤、免疫抑制剤や抗ウイルス薬などにはこの制度の対象にならないものがあります。対象外となる医薬品はこちらから検索いただけます。

<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0022.html>